

ばばだめ！
JTサンダース広島

久原 大輝

13日の広島東洋カープ対DeN A戦の始球式に安永拓弥選手が出演した。小野寺太志主将をはじめ、これまで多くの選手が経験し、今回は3年ぶりになる。関係者の皆さまには、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

始球式が決まってから、安永選手は時間を見つけて、唐川大志選手を捕手役に投球練習してきた。練習を重ねるたびに、コ

笑顔が輝いた始球式

ントロールの安定感も増していた。

本番直前の控室では極度に緊張し、若干落ち着かない様子。シヤドーピッチングを繰り返し、何とか平常心を保っていた。グラウンドに立つと、そこから見た景色に感動と興奮が収まらない。私は本番前のキャッチボールの相手を務めた。あの場所でキャッチボールをしたことは一生の自慢だ。

いよいよ本番。マウンドに立った瞬間、「遠く感じた」と語っていたが、結果は見事にストライクゾーンに投げ込んだ。投球後「自分は野球好きだから、憧れのマウンドを経験でき、感謝しかありません」とお礼を述べていた。マウンドから帰ってきた安永選手は、今まで見た中で一番の笑顔で輝いていた。

(JT広島マネジャ

始球式を終えて、笑顔の安

永選手

